

最初のバプテスマ 1953

仙台教会の歴史シリーズ その6

小林孝男

1. 記録と記憶

グラント宣教師は、仙台での最初のバプテスマについて次のように語っています。

「仙台での最初のバプテスマは、私たちの宣教活動が最初に始まってから約一年後のことであった。私たちの一番最初の試みはカーティス・アスキュー宣教師のメッセージを通した、公会堂における五日間の集会だった。目に見える成果という意味では、この集会はそれほど成功しなかった。しかし、これによって種が蒔かれた。決心カードに記入した人の中で、ある少年がその後数カ月努力を続け、ある寒い十一月の午後にバプテスマを受けた最初の六人の一人となった。私たちの二番目の娘のアンジェラもその六人の中にいた。二人の若い女性と、二人の男性がそれに加わり、私たちの十二カ月間にわたる過酷な働きの結果、目に見える結果として現れた数字となった」¹。

この貴重な証言は、グラント宣教師が仙台での7年間の働きを終えてから何年か後に著した *A Work Begun* (1965-1967年頃の著作) と *Japan with Love* (1976年頃の著作) を、仙台教会50周年記念事業として、教会員だった大谷淳久さんに翻訳を依頼し、合本で出版した著書の中に含まれています。但し、内容的にいくつか不確実なところがあります。

(1) 「公会堂における五日間の集会」というところですが、2003年(平成15)に同師が来仙した際に語られた説教の中では、「公会堂で三日間行った伝道集会を通し」と語られています²。また、この特別伝道集会に学生の頃に参加した経験を持つ國分登さんは、証しの原稿の中でその特伝の具体的な3日間の日程を挙げています³。一方、「伝道所沿革」の中にも5日間の具体的な日程が記録されています。但し、それは金曜日から火曜日までという、少し不自然な日程です⁴。

(2) 1953年(昭和28)11月に仙台での最初のバプテスマが行われ、次女アンジェラちゃんを含め6人が受浸した、とグラント宣教師は記憶しているようですが、「教会員名簿」⁵の記録によれば、11月にはバプテスマは行われていません。10月25日に3人の女性が受浸し、その中の一人がアンジェラちゃんです。記録上は、これが仙台でのグラント宣教師による初めてのバプテスマです。

(3)「決心カードに記入した人の中である少年が・・・バプテスマを受けた最初の六人の一人となった」との部分に関して、もしこの「ある少年」が國分登さんを指すものとして書いているのであれば、これも「教会員名簿」の記録とは異なります⁶。國分さんのバプテスマは1954年（昭和29）6月27日と記録されているからです。

2. 最初のバプテスマは広瀬川で

「伝道所沿革」にせよ「教会員名簿」にせよ、正確とは言えない部分も含まれていますので、100%確かであるとは言えませんが、グラント宣教師の証言は、「教会員名簿」に掲載されていることとは食い違っています。常識的に考えるならば、受浸記録は教会にとっては最も重要な資料です。その記録はしっかり管理されていたはずで、何か書類を作成する際に、その記録からの転記ミスや勘違いでのミスなどは起こり得ますが、グラント宣教師による最初のバプテスマが1953年（昭和28）10月25日に行われ、3人の方が受浸したという「教会員名簿」の記録は、信頼していいのではないのでしょうか。

なお、会堂ができるまでのバプテスマは広瀬川で行われました。國分さんの記憶によれば澱橋と牛越橋の間だったとのこと。ちなみに、広瀬川で最初にバプテスマを行ったのは、アメリカン・バプテスト宣教師同盟から宣教師として任命されたイギリス人 T.P.ポートで、1880年（明治13）7月のことです⁷。彼は東北に初めてバプテストの信仰を伝えた宣教師で、仙台に誕生した最初のプロテスタント教会は、ポートが設立した仙台浸礼教会（現在の日本キリスト教団仙台ホサナ教会）です。

¹『主の息吹の中で』26頁

²グラント師の著書の合本版の297頁に、2003年7月6日に仙台教会で師が行った説教の原稿が掲載されている。

³資料(2020/08/00_仙台教会の紀元 by 國分登) 1頁、昭和27年11月3～5日と記している。曜日は月曜日～水曜日となる。

⁴資料(1955/03/25_仙台バプテスト伝道所沿革と教会員名簿)、昭和27年11月7～11日とあり、曜日は金曜日から火曜日となる。

⁵同上

⁶資料(2020/08/00_仙台教会の紀元 by 國分登) 6頁

⁷Baptist Missionary Magazine, Jan. 1881に掲載されている *Letter From Rev. T. P. Poate. Sendai, Oct. 11, 1880* 参照